

### 学校だより

#### はじめての都市対抗野球応援!

11月30日、日立製作所の都市対抗野球 本戦一回戦が行われた。対戦相手はヤマハ(浜松市)で、偶然にも前年のリベンジマッチとなった。前年の戦績は0-9と大敗を喫しただけに応援団も慎重に見守ったが、3本の本塁打でみごと勝利を収めた。



在校生は、工場実習中の3年生を除く1・2年生が東京ドームに駆けつけた。1・2年生はコロナウイルスの影響で、初めての都市対抗野球応援が本戦(全国大会)となったため東京ドームを訪れることが初めてという生徒も多かった。マスクで声出しなしの応援ではあったが、学校とは全く違う雰囲気大いに楽しんで

んでいる様子であった。

余談ではあるが、昨年度からは高校野球の全校応援もかなわず、クラスマッチなどの学校行事も、オンライン配信などの工夫により一か所に集まらないようにしている。そんな中で、今回のように大勢と一緒に応援できたことは、生徒たちにとっても特別な思い出になったことだろう。



#### 2022年度高等課程入学試験

2022年度高等課程入学試験が、12月7日・8日に本校、つくば市、仙台市、下松市の4会場で実施された。全国的にコロナの感染もおおむね収束し、ほぼ影響のない状況下での入学試験となった。試験は英語、数学、国語の学科に加え、面接を実施したが、受験生は皆一様に緊張した面持ちで試験に臨んでいた。受験者は91名、合格者は58名で今後入学に向けての本格的な準備に入る。

#### 全国大会に挑戦!

第59回技能五輪全国大会に技能五輪部電気溶接職種3年佐藤旭くん、渡辺哲平くん、旋盤職種に同じく3年谷鳳人くんが出場した。3人とも全国大会の緊張感があったが、訓練



電気溶接職種：佐藤 旭選手(3年)



つくば会場筆記試験風景

の成果を十分に出し切った。溶接職種は圧力容器の圧力試験耐圧合格、旋盤職種は時間内組立摺動をみごとクリアした。入賞には届かなかったものの、今後に向けて自信がなかった結果になった。次の大会で3人が活躍する姿を見られることを大いに期待する。



電気溶接職種：渡辺 哲平選手(3年)



旋盤職種：谷 鳳人選手(3年)

#### 日専校マラソン大会

第52回日専校マラソン大会が12月16日に晴天の下、ひたち海浜公園にて実施され、生徒たちが元気に園内を駆け抜けた。男子の部は2年電気科大野くん、女子の部は1年機械科の吉田さんが1位となった。



### 1位宣言をして

大野 虎太郎

私は今回のマラソン大会で選手宣誓の際、優勝を宣言しました。私にとっては日専校での初のマラソン大会で、自分の走力がどの程度なのかわからず、たいへん不安でした。しかし、優勝を目標に、しっかりと練習を積み重ねてきたので、誰にも負けない自信がありました。その裏付けがあったからこそ優勝を宣言できたのです。実際のレースにおいても一度もトップを譲ることなく33分台でゴールすることができ宣言通り優勝することができました。自分としてもたいへん嬉しく、大きな自信になりました。有言実行は難しいことですが、私は今回、自分の努力を信じて達成することができました。



クラスの部：優勝2年溶接科

### コロナ禍による海外研修断念 国内で英語研修を実施

益山 柀

今回も新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により海外研修ではなく、福島県天栄村にあるブリティッシュヒルズにて研修を1月6・7日の2日間にわたり実施した。

した。今後はマラソン以外のことでも有言実行できるような努力を積み重ねていきます。



部活動の部：優勝サッカー部

### 英語研修に参加して

益山 柀

今回、英語研修に参加させていただき感じたことは「日常の大切さ」と「英語の必要性」です。研修の2日間を過ごす上で、右側通行をすることや周りの人に対する気遣いに欠けていることがありました。このことから、自分はまだ学校での日常を校外学習など環境が変わっても意識し続けることができず、日々の積み重ねが足りていないと感じました。また、英語を話すことの苦手意識をこの二日間、英語に触れ続けることができたおかげで少し無くなることができました。例えば、食事の際ブリティッシュヒルズのスタッフの方が話しかけてくださったときにすぐに返答することができるようになり、英語研修を通しての成長を感じました。

最後に今後の目標として、日々の



日常を少しずつ積み重ね着実に成長していき、英語にも色々な形で触れ続けて、苦手意識をなくせるように日々努力していきます。



### 新年のご挨拶

寮友会 村上 誼



明けましておめでとうございます。寮会長の2年野球部の村上誼と申します。

青森県出身ですが寒いのが苦手です。今年の寮友会では、「正しき美しさ、日本一」というスローガンを掲げ、寮生活の中でも一人ひとりが目標を持ちながら主体的に行動し、常に人間力の向上を目指します。さらに成長のスピードを加速させ、寮生活から会社の即戦力となる人材になっていきます。

### 日専校卒業生の皆さんへ

今年の4月、110回生が日専校に入学してきます。皆さんが卒業してから何年経っていますでしょうか。校舎や寮が変わっているかもしれません。制服はどうでしょう。今は、女子生徒もいますし、オンラインの授業もあります。このように設備や制度は年々歳歳変わっていきます。しかし、皆さんも在校生も、そしてこれから入学する生徒も日専校で大変な時間を過ごすことに代わりはありません。試験の結果に一喜一憂し、寮の朝食と眠気のどちらを優先するか迷っているのも、皆さんと同じです。ぜひ、先輩が一社会人として成長する手伝いをして下さい。日専校の卒業生として誇りを持ち、頑張っているよう厳しくも温かい目で見守って下さい。歴史は人が作っていくものです。皆さんの母校である日専校がこれからも続いて欲しいと願う私からの皆さんへの思いを書かせていただきました。

また、コロナ禍が落ち着いたら、ぜひ日専校に足を運んで下さい。日専校は、いつまでも皆さんの母校であり、皆さんを応援しています。そして、皆さんが、いつまでも健やかであることを心から願っています。

歌川 友子